Hyper S-Stage KIT 取扱説明書

商品番号　：０１－０５－５１３５（オールアルミシリンダー）φ５６／１２４.６ｃｃ
適応車種　：ＫＳＲ１１０
フレーム番号：ＫＬ１１０Ａ－０００００１～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切 負いかねます。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎この製品の取り付けには上記適応車種にあったカワサキ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やカワサキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお薦め致します。
◎商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。キット内のジェットに交換した後に個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

Dec./22/ 08

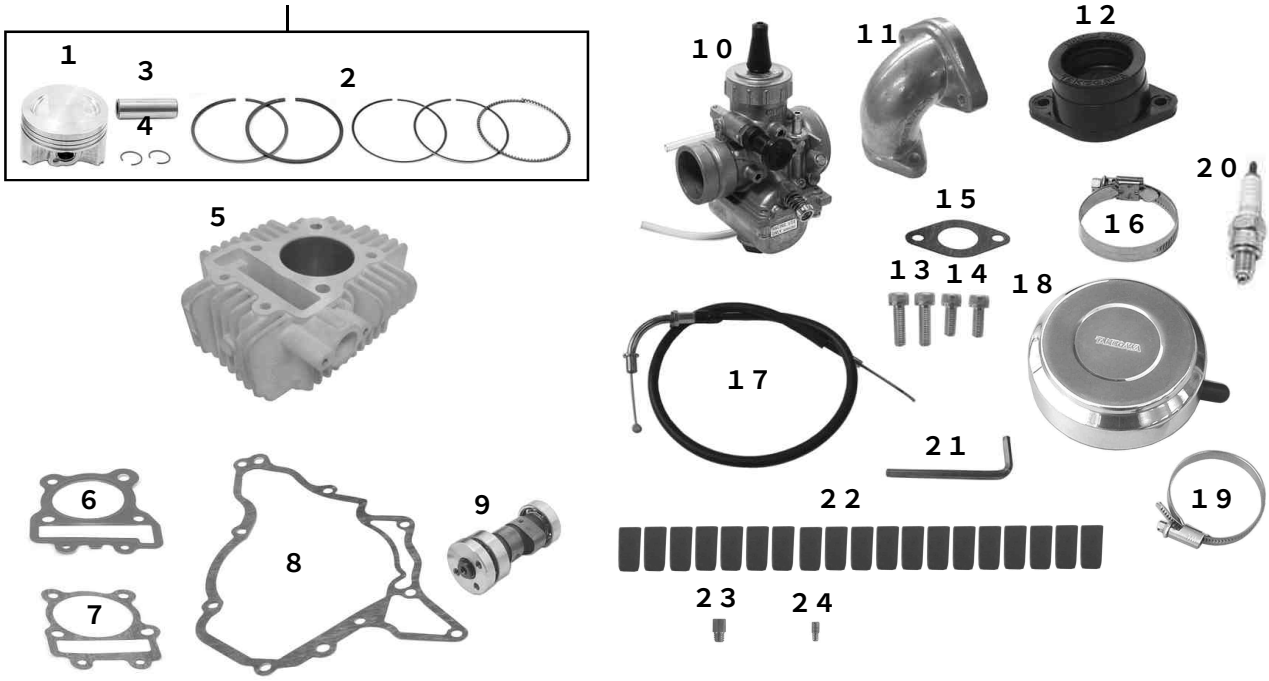
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

○ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジをゆるめるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～商　品　内　容～

０１－０２－０９０７　ピストンキット



キャブレター出荷時の状態

メインジェット	＃１９０
パイロットジェット	＃２２．５
ジェットニードル	５Ｅ７５
クリップポジション	３段目
スロットルバルブ	＃1.5
エアースクリューオープニング	1回転±１／４

番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン	１	１３１０８－ＫＬ１－Ｔ１０Ｂ	１
２	ピストンリングセット	１	０１－１５－０２０	１
３	ピストンピン　１３×３６	１	１３１１１－ＧＥＦ－Ｔ０１	１
４	ピストンピンサークリップ	２	００－０１－０００３	６
５	オールアルミメッキシリンダー	１	０１－０１－０１０１	１
６	シリンダーヘッドガスケット	１	１２２５１－ＫＬ１－Ｔ００	１
７	シリンダーガスケット	１	１２１９１－ＫＬ１－Ｔ００	１
８	ジェネレーターガスケット	１	００－０１－００５８	１
９	カムシャフト	１	０１－０８－０４５	１
１０	キャブレターＡＳＳＹ．	１	０３－０３－０３２１	１
１１	インレットパイプ	１	１７１１３－ＫＬ１－Ｔ００	１
１２	インシュレーター	１	１６２１２－１６５－Ｔ００	１

番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１３	ソケットキャップスクリュー　６×２０	２	００－００－００４３	１０
１４	ソケットキャップスクリュー　６×１５	２	００－００－００４２	１０
１５	インレットパイプガスケット	１	９１３０１－ＫＬ１－Ｔ００	１
１６	インシュレーターバンド	１	００－００－００５０	１
１７	スロットルケーブルＣＯＭＰ．	１	１７９１０－ＫＬ１－Ｔ０１	１
１８	エアーフィルターＣＯＭＰ．	１	０３－０１－１１１１	１
１９	フィルターバンド	１		
２０	スパークプラグ（ＮＧＫ－ＣＲ８ＨＳＡ）	１	――――	
２１	Ｌレンチ　５mm	１	――――	
２２	シリンダーダンパー　Ｂ	１９	００－０１－００３１	１０
２３	メインジェット　＃１８５	１	００－０３－００７７	１
２４	パイロットジェット　１７.５	１	００－０３－０１５４	１

※補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

Dec./22/ 08

～取　り　付　け　要　領～

※水平で安全な場所で車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

●取り外し

◇フューエルコックをＯＦＦにする。

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

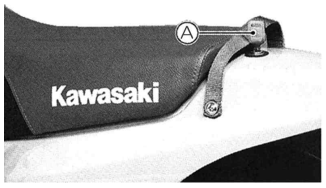
★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

①外装部品の取り外し

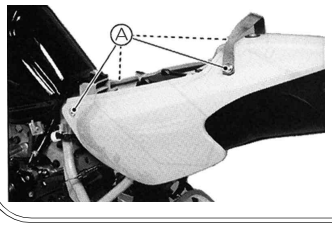
◇３本のスクリューを取り外し、右シュラウドを取り外す。
使用工具　プラスドライバー大

◇ボルトを取り外し、シュラウドスクリーンを取り外す。
使用工具　ソケット　１０mm
ラチェットレンチ

◇シートを取り外す。



◇４本のスクリューを取り外し、シートカウルとシートバンドを取り外す。

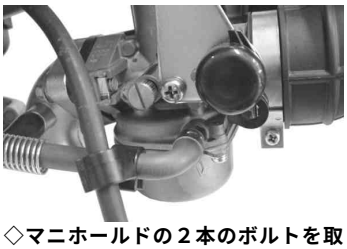


②キャブレターの取り外し

◇配線２本の接続を外す。キャブレタートップを取り外し、スロットルバルブを抜き取る。

◇チョークケーブルの接続を外す。

◇クランプを取り外す。チューブクランプを取り外し、フューエルホースの接続を外す。エアクリーナダクトのクランプスクリューを緩める。
使用工具　プラスドライバー中

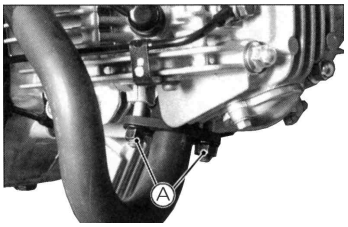


◇マニホールドの２本のボルトを取り外し、エアクリーナダクトからキャブレターを取り外す。
使用工具　メガネレンチ　８mm

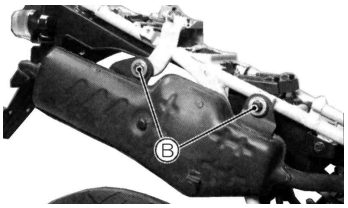
◇チョークレバーブラケットをフレームから取り外す。

③エキゾーストマフラーの取り外し

◇エキゾーストパイプホルダナット２個を取り外す。
使用工具　スパナレンチ　１０mm



◇マフラー取り付けボルト２本を取り外し、マフラーを取り外す。
使用工具　メガネレンチ　１２mm



④スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張って外します。必ずキャップ部分を持って引っ張って下さい。

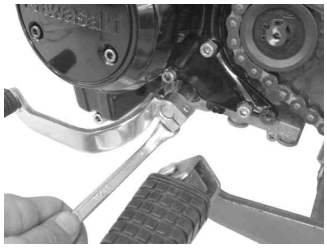
◇スパークプラグを取り外します。
使用工具　プラグレンチ　１６mm
ラチェットレンチ

⑤オルタネータカバーの取り外し

◇オイルパン等を用意し、オイルフィラーキャップとエンジンオイルドレンプラグボルトを取り外してオイルを抜き取る。
使用工具等
オイルパン
メガネレンチ　１７mm

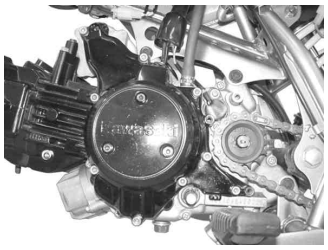
◇ボルト３本を取り外し、スプロケットカバーを取り外す。
使用工具　ソケット　８mm
ラチェットレンチ

◇シフトペダルを取り外す。
使用工具
メガネレンチ　１０mm



◇オルタネータカバーからのコネクターを外す。

◇ボルト９本を取り外し、ジェネレーターカバーを取り外す。
ノックピンは再使用するので取り外しておく。
使用工具　プラスドライバー大

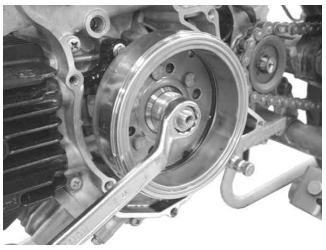


◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。
★キズをつけないように注意。

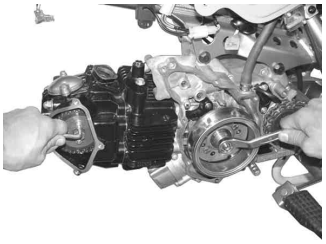
⑥カムスプロケットの取り外し

◇ボルト４本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。
使用工具　ソケット　８mm
　　ラチェットレンチ

◇フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“Ｔ”マークをシリンダヘッドの突起に合わせる。
使用工具
メガネレンチ　１７mm



◇フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト２本を取り外す。
使用工具
６角レンチ　５mm
メガネレンチ　１７mm

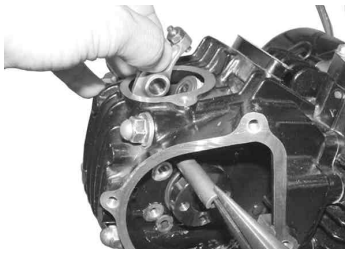


◇カムスプロケットを取り外す。
◇シリンダーのカムチェーンテンショナーのボルトを取り外しておく。
◇２本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。
使用工具　ソケット　８mm
　　ラチェットレンチ

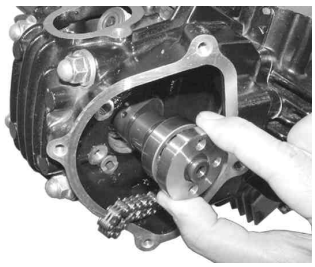
⑦ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

◇ボルト２本を取り外し、バルブアジャスティングカバーＩＮ側、ＥＸ側を取り外す。スクリュー２本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパを取り外す。
使用工具
ボルト　：メガネレンチ　８mm
スクリュー：プラスドライバー大

◇ロッカアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いてＩＮ側、ＥＸ側のロッカーアームを取り外す。
使用工具　ラジオペンチ

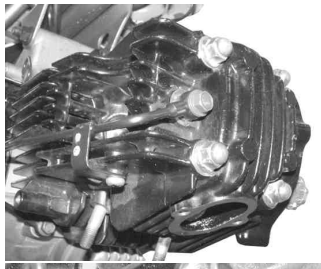


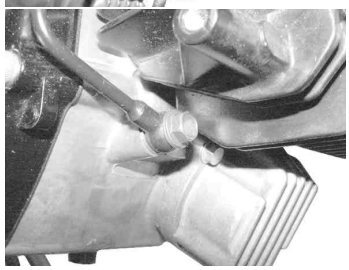
◇カムシャフトを抜き取る。
★無理に引っ張らないこと。



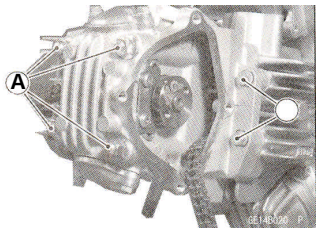
⑧シリンダ―ヘッドの取り外し

◇オイルパイプ取り付けスクリューと、クランクケース側、シリンダーヘッド側のバンジョーボルトを取り外し、オイルパイプを取り外す。
使用工具　プラスドライバー大
　　メガネレンチ１２mm

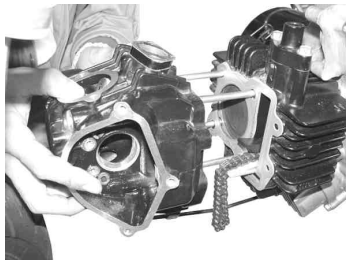




◇ヘッドボルト２本を取り外す。
ヘッドナット４個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。
使用工具
ヘッドボルト
　：１０mmソケット
　　エクステンションバー中
　　ラチェットレンチ
ヘッドナット
　：メガネレンチ１２mm



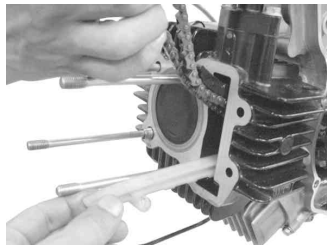
◇シリンダーヘッドを引っ張って取り外す。（かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。）



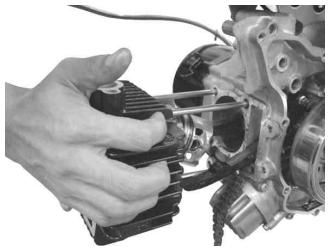
◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておく。

⑨シリンダ―の取り外し

◇ロアカムチェーンガイドを取り外す。



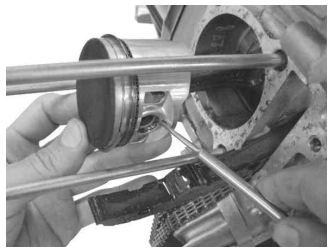
◇シリンダーを引っ張って取り外す。（かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。）



◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておく。
◇シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らないようにウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。
◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。
★キズをつけないように注意。

⑩ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。
使用工具
マイナスドライバー極細先



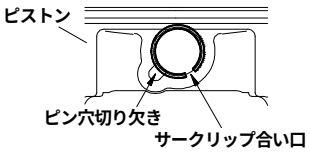
◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。

●Ｓ-ステージＫＩＴの取り付け

①ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

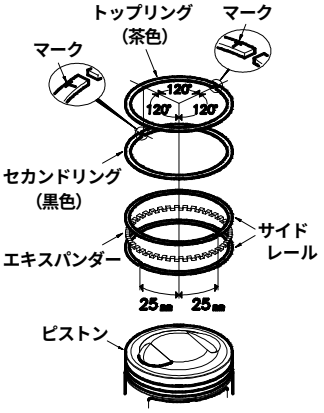
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けること。



★ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来る。

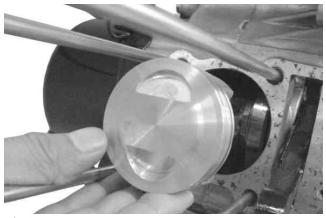
★押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布する。

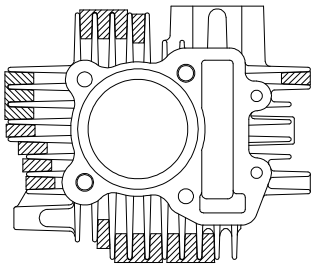
◇ピストン頂面の“ＥＸ”文字が、下（排気側）になるようにピストンを取り付ける。



◇付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

②シリンダ―の取り付け

◇シリンダー冷却フィンの間に、キット内のシリンダーダンパーＢを図の場所に奥まできっちり入る様取り付けます。
（シリンダー冷却フィン共振音低下の為取り付けます。）

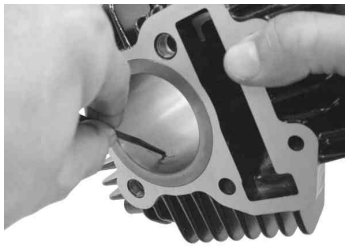


◇詰めていたウエスを取り外す。

◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

◇ノックピン２個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。

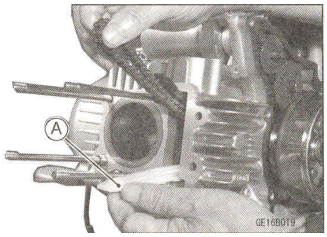
◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布する。



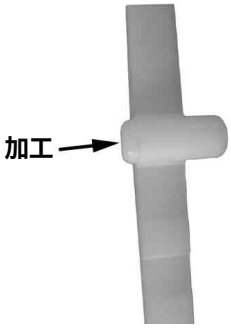
◇シリンダーをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダーをクランクケースにはめ込む。

★シリンダーがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通しておく。

◇ロアカムチェーンガイドをシリンダとクランクケースの溝にしっかりとはめ込む。



※シリンダーにチェーンガイドを取り付ける際、個体差でチェーンガイドが溝の奥まで入りきらない場合があります。
写真を参考にチェーンガイドの横方向にガタが出来るまで加工し、溝の奥まで入っている事を確認して下さい。



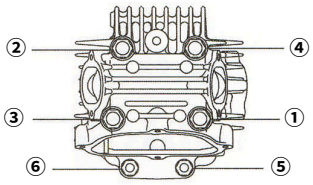
③シリンダ―ヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン２個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

◇ヘッドナット４個、ヘッドボルト２本を仮止めしておき、対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

使用工具
ヘッドボルト
：１０mmソケット
エクステンションバー中
トルクレンチ
ヘッドナット
：１２mmソケット
トルクレンチ
規定トルク
ヘッドボルト：１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）
ヘッドナット：２２Ｎ・ｍ
（２.２ｋｇｆ・ｍ）

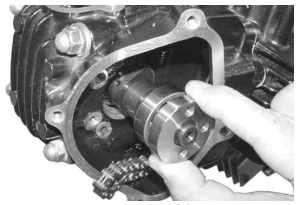


◇オイルパイプを取り付けスクリューと、バンジョーボルトで取り付ける。

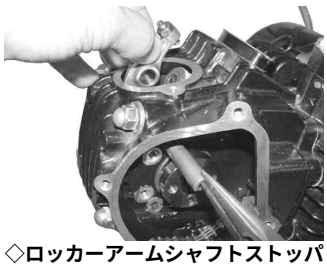
使用工具
スクリュー
：プラスドライバー大
バンジョーボルト
：１２mmソケット
トルクレンチ
規定トルク
スクリュー
：５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）
バンジョ―ボルト
：１５Ｎ・ｍ
（１.５ｋｇｆ・ｍ）

④カムシャフトとロッカーアームの取り付け

◇キットのカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。



◇ロッカアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、取り付ける。



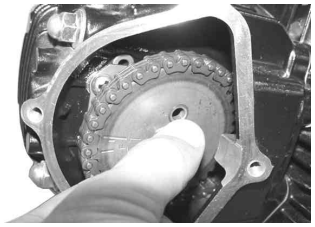
◇ロッカーアームシャフトストッパをスクリュー２本で取り付ける。

使用工具
プラスドライバー大
規定トルク
５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

⑤カムスプロケットの取り付け

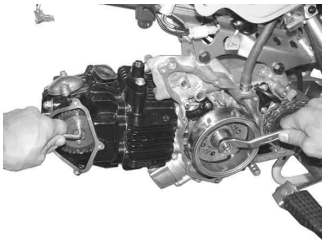
◇フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。

◇カムスプロケットの“Ｔ”マークがシリンダーヘッドの突起に合うようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



◇カムシャフトスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、スクリュー２本を取り付ける。

使用工具　５mmヘキサゴンソケット
トルクレンチ
規定トルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）



◇カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。

◇シリンダーにカムシャフトチェーンテンショナーを取り付ける。

使用工具　ソケット　８㎜
トルクレンチ
規定トルク　Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

◇カムシャフトチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。キャップボルトを取り付ける。

使用工具
ストッパ
：マイナスドライバー極細先
キャップボルト
：スパナレンチ　１０mm
規定トルク
キャップボルト
：５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

⑥バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“Ｔ”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットの“○”マークがシリンダーヘッドの突起に合っているか確認する。

◇アジャストスクリューとバルブステムの間にシックネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付けます。

使用工具　シックネスゲージ
メガネレンチ　９mm
ラジオペンチ
バルブクリアランス
：ＩＮ、ＥＸ共に０.０４
～０.０８mm
規定トルク　８.８Ｎ・ｍ
（０.９ｋｇｆ・ｍ）

◇クランクシャフトを反時計方向に２回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

◇カムシャフトスプロケットカバーをボルト４本で取り付ける。

使用工具　ソケット　８mm
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

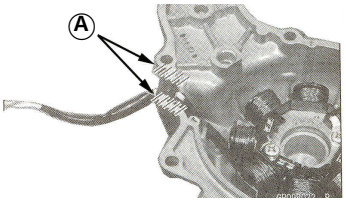
◇ボルト２本を取り外し、バルブアジャスティングカバーＩＮ側、ＥＸ側をそれぞれボルト２本で取り付ける。

使用工具　ソケット　８mm
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

⑦ジェネレーター―カバーの取り付け

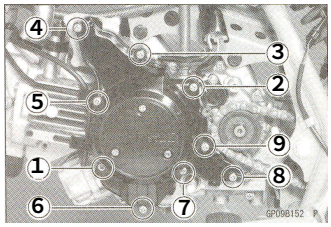
◇ジェネレーターカバーとクランクケースの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン２個とガスケットを取り付ける。

◇ジェネレーターカバーの配線のグロメット部に液体ガスケットを塗布する。

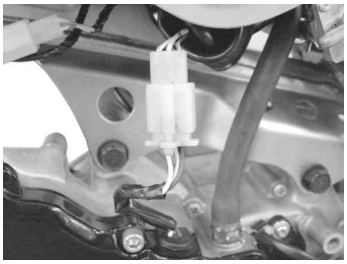


◇ジェネレーターカバーを取り付け、ボルト９本を仮止めする。それぞれのボルトを番号順に数回に分けて本締めする。

使用工具　プラスドライバー大
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）



◇ジェネレーターカバーからのコネクターを接続する。



◇シフトペダルを取り付ける。

使用工具　１０mmソケット
トルクレンチ
規定トルク
５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

◇エンジンオイルドレンプラグボルトとガスケットを取り付ける。

使用工具　１７mmソケット
トルクレンチ
規定トルク　２９Ｎ・ｍ
（３.０ｋｇｆ・ｍ）

◇エンジンオイルを規定量入れ、オイルフィラーキャップを取り付ける。

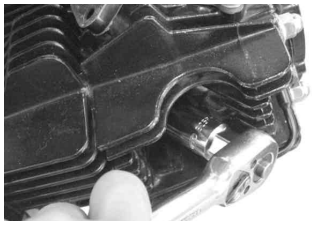
エンジンオイル規定量　０.９Ｌ
（オイルフィルターを取り外さない場合）

⑧スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。

◇プラグレンチを用いて締め付ける。

使用工具　１６mm
プラグソケット
トルクレンチ
規定トルク　１３Ｎ・ｍ
（１.３ｋｇｆ・ｍ）

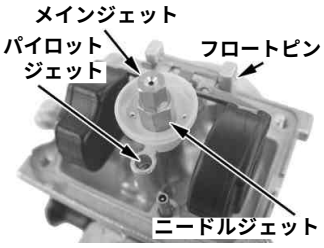


◇スパークプラグキャップを取り付ける。

⑨ジェットの交換

◇４本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外す。

◇メインジェット、パイロットジェットを取り外す。

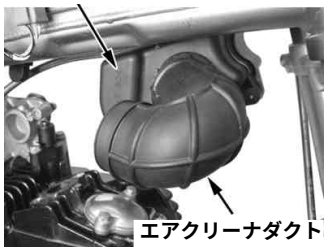


※フロートピンは外れやすいので注意。
※メインジェットはニードルジェットと供回りしないように保持すること。

◇キットのメインジェット、パイロットジェットを取り付ける。
◇フロートチャンバーを取り付け、４本のスクリューでキャブレターに取り付ける。

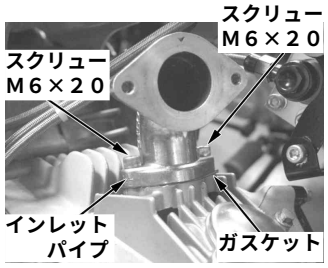
⑩キャブレターの取り付け

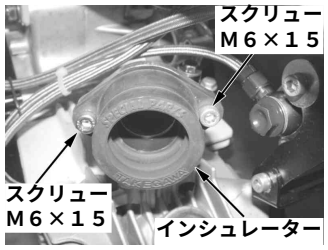
◇エアクリーナダクトをエアクリーナボックスから取り外す。



◇スクリュー２本を取り外し、スロットルハウジングのカバーを取り外す。
◇インナーケーブルの接続を外し、スロットルケーブルのアジャスターを回して、スロットルハウジングから取り外す。
◇キット内のスロットルケーブルをスロットルハウジングに、アジャスターを回して取り付け、インナーケーブルをスロットルリールに接続する。
◇スロットルハウジングのカバーをスクリュー２本で取り付ける。

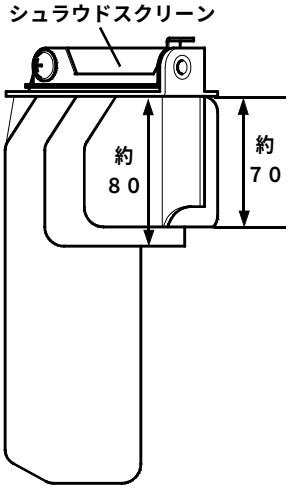
◇シリンダーヘッドとインレットパイプの間にガスケットを挟み、ソケットキャップスクリューＭ６×２０で取り付けます。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）
インシュレーターをインレットパイプにソケットキャップスクリューＭ６×１５で取り付けます。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）





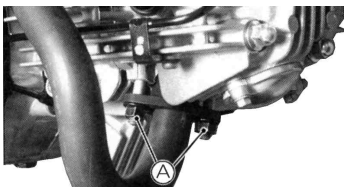
◇キャブレターをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定する。
◇キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取る。
◇スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付け、ニードルクリップリテーナーを取り付ける。
◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。
◇スロットルグリップ部で５mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整する。スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認する。
◇エアーフィルターを取り付け、バンドを締付けて固定する。
◇クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行う。

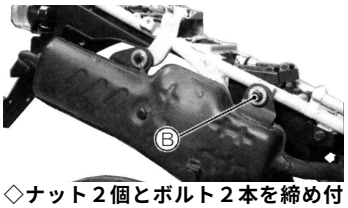
◇シュラウドスクリーンをキャブレターが干渉しないように加工する。



⑪エキゾーストマフラ―の取り付け

◇エキゾーストマフラをエキゾーストパイプホルダナット２個とマフラー取り付けボルト１本でまず仮止めする。
使用工具
ナット：スパナレンチ　１２mm
ボルト：１２mmソケット
トルクレンチ

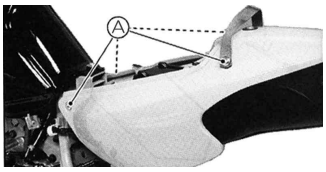




◇ナット２個とボルト２本を締め付ける。
規定トルク
ナット：１４Ｎ・ｍ
（１.４ｋｇｆ・ｍ）
ボルト：１４Ｎ・ｍ
（１.４ｋｇｆ・ｍ）
◇エンジンガードを取り付ける。

⑫外装部品の取り付け

◇２本のスクリューでシートカウルを取り付ける。
使用工具　プラスドライバー大
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）



◇シートを取り付ける。

◇ボルトでシュラウドスクリーンを取り付ける。
使用工具　　１０mmソケット
エクステンション中
トルクレンチ
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

◇３本のスクリューで右シュラウドを取り付ける。
使用工具　プラスドライバー大
規定トルク　５.２Ｎ・ｍ
（０.５３ｋｇｆ・ｍ）

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認します。
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させます。
◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検して下さい。
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL　０７２１－２５－１３５７　FAX　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL　http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

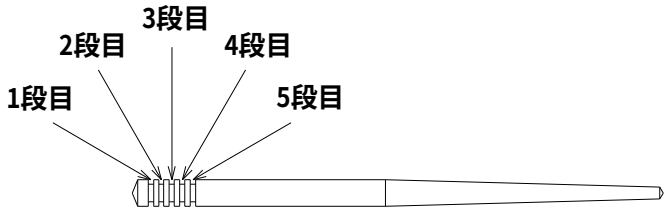
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル　（スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット　（スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット　（調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３.０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
　パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１.５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７

Aug./20/ 09